

## 114事業承継・成長支援ファンドの設立

2024年7月、当行全額出資の投資専門子会社である百十四共創投資株式会社において、「114事業承継・成長支援ファンド」を設立しました。事業承継及び新規事業展開ニーズのある中堅・中小企業等に対し、投資のほか、経営面のコンサルティング支援、取締役などの人的支援、経営に関与するハンズオン支援を展開し、企業の価値向上を中長期的に支援してまいります。

## 「ソリューションファイナンス部」の新設

2024年10月、ソリューションファイナンス部を新設しました。多様化するお客さま・地域のニーズや課題に対し、日々進歩する金融技術を駆使したファイナンス機能をワンストップで提供し、課題解決を図っていくことで地域経済の発展に貢献することを目的としています。

## 日本生命保険相互会社とサステナビリティ推進に関する協定締結

2024年6月、日本生命保険相互会社と「地域のサステナビリティ推進に関するパートナーシップ協定」を締結しました。両社が持つネットワークやノウハウを相互に活かし、地域のサステナビリティ推進に向けた取組みを一層強化してまいります。



## 「四国アライアンス奨学金返還支援制度」の創設

2024年6月、四国創生の実現に向けて、地元企業で働く若手社員の奨学金返済を支援する「四国アライアンス奨学金返還支援制度」を創設しました。四国に本社を持つ賛同企業に勤務する若手社員の経済的負担を軽減することで、若手人材の定着・育成を支援してまいります。



## 多度津町・三木町との企業版ふるさと納税に関する契約締結

企業版ふるさと納税の活用促進及び地域活性化を目的に、新たに多度津町・三木町と企業紹介に関する契約を締結しました。同契約に基づき、寄付を実施されたお客さまには、それぞれの市町から感謝状が贈呈されます。



▲多度津町連携協定



▲三木町連携協定

## 次世代への金融教育の実施

親子でお金について学んでもらうイベント「夏休み親子教室」の開催や、中高生を対象とした金融教育動画制作イベント「FESコンテスト香川大会」に協力企業として参加しました。また、職員家族を対象とした「こども参観日」の開催、各学校への出前授業など、次世代を担う子どもたちの金融教育に取り組んでいます。



## 「デジタルサイネージ広告サービス」の取扱い開始

2024年8月から、香川県内の店舗に設置しているデジタルサイネージ(映像表示モニター)上で、お客さまの広告を放映するサービスを開始しました。香川県内約50カ所の営業拠点で、窓口を利用される月間約11万人のお客さまをターゲットに、お客さま・自治体の商品やイベントのPR、地域情報を発信いただくことができます。

## 香川県及び香川県内全17市町の社会福祉協議会と「遺贈寄付」に関する協定を締結

当行と香川銀行、高松信用金庫は、遺贈寄付の希望者に香川県と全17市町の社会福祉協議会を紹介する取組みを開始しました。高齢化の進行や家族形態の多様化などを背景に、遺贈寄付への関心が高まっています。当行は、お客さまの思いをつなぐお手伝いを積極的に行ってまいります。



## 「職場のロリエ」導入

女性の健康課題に対する取組みとして、急な生理時やナプキン不携帯時に役立つ「職場のロリエ」を当行施設に設置しました。ナプキンをトイレトペーパーと同じように会社の備品とすることで、生理に関する不安を解消し、女性が安心して働くことのできる職場環境づくりに取り組んでいます。



## 「調達・購買に関する方針」の制定

2024年8月、持続可能な社会の実現をめざし、必要な物品及びサービス等の調達・購買について、環境や社会に配慮することを定めた「調達・購買に関する方針」を制定しました。本方針のもと、物品及びサービス等の供給元とのコミュニケーションを通じた調達・購買につとめます。

## 高松市と脱炭素社会の実現に向けた連携協定締結

2024年7月、脱炭素社会の実現に向けて、高松市と脱炭素社会の実現に向けた連携協定を締結しました。高松市の提唱する“2050年「ゼロカーボンシティ」実現”に向けて、当行の持つソリューションやネットワークを活用して、ともに脱炭素社会の実現をめざします。なお、当行が脱炭素における取組みを主たる目的とした連携協定を地方公共団体と締結するのは高松市が初めてです。



## 「114脱炭素コンサルティングサービス」の取扱い開始

お客さまのカーボンニュートラルに向けた取組みを支援するため、「114脱炭素コンサルティングサービス」の取扱いを開始しました。CO2排出量の算定や、CO2排出量の削減目標及び削減案の作成など、お客さまのカーボンニュートラルに関する悩みを解決します。

## 「瀬戸内渚フォーラム」への参画

生物多様性保全の一環として、瀬戸内海での生物多様性保全及び地域経済の活性化をめざすプロジェクト「瀬戸内渚フォーラム」に参画しました。

瀬戸内海は豊かな生態系を誇る一方、近年の環境変化により藻場が減少しています。海洋生物の繁殖場や二酸化炭素の吸収源でもある藻場の再生に、瀬戸内地域の金融機関や企業、自治体、漁業協同組合などが連携して取り組みます。



## プラスチック製クリアファイルのリサイクル

当行では脱プラスチックに向けて、行内で使用するプラスチック製クリアファイルをFSC森林保証※付の紙製クリアファイルへ切り替える活動を進めています。さらに、切り替えにより不要となったプラスチック製クリアファイル約4万枚を回収し、ごみ袋へとリサイクル・使用することで、行内資源の循環に取り組みます。

※適切に管理された森林から生産された製品に付与されるマーク



## 廃材を使ったカルトンを受贈

地元高校生に制作いただいた、廃材を使用したカルトンを当行西支店で使用しています。廃材を使用した作品作りを行っている生徒さんの作品展示場として同店のロビーを解放したことがきっかけで制作・受贈に至ったものです。今後も地域の方々と連携して、さまざまな取組みを行ってまいります。

